

第37回武蔵野市地域公共交通活性化協議会 次第

(令和6年度 第3回)

令和7年2月20日(木)

午後2時～午後4時

総合体育館3階視聴覚室

1. 開 会

会長挨拶

2. 議 事

(1) 協議事項

武蔵野市地域公共交通計画の策定について

- ① 現計画の評価・検証（令和7年2月20日時点）
- ② 利用者アンケートの調査結果
 - ・ムーバス利用者アンケート
 - ・路線バス利用者アンケート
 - ・タクシー利用者アンケート
- ③ 地域公共交通を取り巻く課題
- ④ 市民アンケート調査票の最終確認

(2) 報告事項

- ① 武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画について
- ② ムーバスの年末年始ダイヤについて
- ③ 国の補助金について

3. 閉 会

配付資料

資料1	武蔵野市地域公共交通活性化協議会構成員名簿
資料2	策定スケジュール（令和7年2月20日時点）
資料3	事業評価・検証一覧（令和7年2月20日時点）
資料4－1	ムーバスの利用状況等に関するアンケート調査実施報告書
資料4－2	路線バスの利用状況等に関するアンケート調査実施報告書
資料4－3	タクシー利用状況等に関するアンケート調査実施報告書
資料5	地域公共交通を取り巻く課題（令和7年2月20日時点）
資料6	【武蔵野市】地域公共交通に関する市民アンケート調査
資料7	武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画（抜粋）
資料8	ムーバスの年末年始ダイヤについて
資料9	令和6年度地域公共交通確保維持改善事業評価

武蔵野市地域公共交通活性化協議会構成員名簿

令和7年2月20日
第37回 地域公共交通活性化協議会
【資料1】

六条

区 分		所 属	委 員	
第1号	武蔵野市長又はその指名する者	武蔵野市 都市整備部長	大塚 省人	オオツカ マサト
		武蔵野市 健康福祉部長	山田 剛	ヤマダ タケシ
第2号	一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	小田急バス(株) バス事業本部計画部 部長	古谷 弘文	フルヤ ヒロフミ
		関東バス(株) 取締役 運輸部長	土屋 敏和	ツチヤ トシカズ
		京王電鉄バス(株) 運輸営業部 乗合事業担当課長	三浦 裕介	ミウラ ユウスケ
		西武バス(株) 計画部 計画課長	秦野 凌	ハタノ リョウ
		一般社団法人 東京バス協会 乗合業務部長	富樫 秀樹	トガシ ヒデキ
		一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会 武・三支部 顧問	千田 裕	センダ ヒロシ
第3号	住民または利用者	武蔵野市コミュニティ研究連絡会	青木 一郎	アキ イチロウ
		武蔵野市老人クラブ連合会 会長	木川 憲子	キガワ ノリコ
		レモンキャブ運行管理者	平野 明夫	ヒラノ アキオ
第4号	関東運輸局長またはその指名する者	国土交通省 関東運輸局 東京運輸支局 首席運輸企画専門官 (輸送担当)	佐藤 義尚	サトウ ヨシヒサ
		国土交通省 関東運輸局 東京運輸支局 首席運輸企画専門官 (総務企画担当)	中山 俊夫	ナカヤマ トシオ
第5号	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体	日本私鉄労働組合連合会 関東バス労働組合 執行委員長	舟山 明久	フナヤマ アキヒサ
		全国自動車交通労働組合 総連合東京地方連合会 執行委員	月村 隆浩	ツキムラ タカヒロ
第6号	学識経験を有する者その他交通会議の運営上必要と認める者	福島大学 人文社会学群 経済経営学類 教授 前橋工科大学 学術研究院 特任教授 (クロスアポイントメント)	吉田 樹	ヨシタ イツキ
		東京都都市整備局都市基盤部 交通企画課 地域公共交通担当課長	武山 信幸	タケヤマ ノブユキ
		武蔵野商工会議所 事務局長	玉田 千尋	タマダ チヒロ
第7号	交通管理者	警視庁武蔵野警察署 交通課長	木下 潤	キノシタ ジュン
第8号	道路管理者	東京都建設局北多摩南部建設事務所 管理課長	犬竹 幹人	イヌタケ ミキト

網掛け：欠席予定

策定スケジュール（令和7年2月20日時点）

		令和6（2024）年度												令和7（2025）年度												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和6年度	（1）計画準備																									
	（2）実態・ニーズ把握調査の実施																									
	①既存資料・データの収集・整理・分析						現況データの整理・分析																			
	②関係者ヒアリング						事業者 ヒアリング	まとめ		庁内 ヒアリング	まとめ			※施策事業の検討に併せて、適宜、実施												
	③ムーバス利用者アンケート調査								準備	実施	集計とりまとめ															
	④路線バス利用者アンケート調査								準備	実施	集計とりまとめ															
	⑤タクシー利用者アンケート調査								準備	実施	集計とりまとめ															
	⑥市民アンケート調査											準備	実施	集計とりまとめ												
	⑦住民グループインタビュー調査						3地域 各2回開催	とりまとめ	ムーバスのコンセプトの検証																	
	（3）現計画の評価・検証							ヒアリング 結果反映	まとめの 提示・協議	分科会・協議会 意見の反映																
（4）地域公共交通を取り巻く課題整理			想定される課題を整理								各種調査結果を反映			ビッグデータ分析結果を反映												
令和7年度	（1）計画準備																									
	（2）実態・ニーズ把握調査の実施																									
	ビッグデータ活用・分析													ビッグデータ分析												
	（3）ムーバス事業の評価・検証										各種調査結果を反映			ビックデータ分析結果を反映												
	（4）基本的な方針及び目標の設定			想定される方向性を整理							各種調査結果を反映															
	（5）目標達成のための施策・事業及び推進方策の検討			考え得る施策を整理							各種調査結果を反映										次年度の事業推進に向けた詳細検討を行う。※計画書には反映しない					
	（6）計画（案）のとりまとめ											骨子案の作成			素案の作成		案の作成							パブリコを踏まえ修正	★承認	
	パブリックコメント																			実施	結果とりまとめ					
	活性化協議会				第1回 7/9				第2回 11/18			第3回 2/20			第4回			第5回					第6回			
	交通事業者分科会			第1回 6/11				第2回① 10/28	第2回② 11/12			第3回 2/3			第4回①	第4回②		第5回					第6回			

※実施済み（ヒアリング・会議等）は 赤字

第1回 協議会・分科会 議題 ・策定スケジュール ・検討の視点	第2回 協議会・分科会 議題 2-① ・現況データ整理・分析 ※ ・住民グループインタビュー結果 ※ ・事業者ヒアリング結果 ※ ・利用者アンケート（案） 2-② ・現計画の評価・検証 ※ ・利用者アンケート（案） ※ ・市民アンケート（案） ※	第3回 協議会・分科会 議題 ・現計画の評価・検証（令和7年2月3日時点） ・利用者アンケートの調査結果 ⇒ムーバス利用者アンケート ⇒路線バス利用者アンケート ⇒タクシー利用者アンケート ・地域公共交通をとりまく課題 ・市民アンケート調査票の最終確認	第4回 協議会・分科会 議題 4-① ・ビッグデータ分析結果 ・市民アンケート調査結果 ・地域公共交通をとりまく課題（修正版） ・基本方針、計画目標、評価指標（案） 4-② ・施策および事業（案）① ・地域公共交通計画（骨子案）提示	第5回 協議会・分科会 議題 ・施策および事業（案）② ・地域公共交通計画（素案）承認	第6回 協議会・分科会 議題 ・パブリックコメントの実施結果 ・地域公共交通計画の承認
--	---	--	---	--	--

武蔵野市地域公共交通網形成計画 事業評価・検証一覧（令和 7 年 2 月 20 日時点）

赤字：第 2 回分科会②及び第 36 回協議会での意見による修正箇所

A 継続する事業
B 見直しする事業（事業のあり方の変更や事業拡大）
C 廃止する事業

		【凡例】 ◎完了（の予定） △検討・研究中 ○実施中 ×未着	○必要性が高い △必要性が不明のため、確認が必要 ×必要性は低い	○実現できると考えられる △実現に向けたハードルは高い ×実現は難しい			A 継続する事業 B 見直しする事業（事業のあり方の変更や事業拡大） C 廃止する事業		
施 策	事 業	実施 状況	実施状況の詳細	必要性	必要性の詳細	実現可 能性	実現可能性の詳細	評価	次期計画に向けた方向性
施策① バス 交通の高密度 ネットワーク・高 頻度サービスの 維持	①-1 路線バスとムーバス事業 による一体的なサービス提供	○	・感染拡大防止路線バス事業者支援補助事業を実施した。(令和 2・3 年度) ・公共交通事業者継続支援事業を実施した。(令和 4・5 年度) ・利用者が少ない一部の便の減便はあるが、路線バスによる基幹バス路線網、ムーバスにより市内バス交通空白・不便地域の解消を維持している。	○	・路線バス・ムーバスが市民の日常生活を支えており、今後も両サービスを維持する必要がある。 ・ 路線バス運転手がムーバスの運転手不足を補っている現状があり、早急な運転手確保が求められる。	△	市と事業者の協力体制を強化することで、当面の維持は可能であると考えるが、運転手不足は深刻で、運行に支障をきたしている。	⇒ A	・路線バス・ムーバスが市民の日常生活を支えており、今後も両サービスを維持する必要がある。 ・乗務員確保の取り組みについては、施策⑦ー 1 に記載（B）。
	①-2 ムーバスの持続可能な運行 に向けた見直し	○	・各種調査（乗降客等調査・事業者ヒアリング調査等）を毎年実施した。 ・ムーバス運転手の賃上げを実施した。 ・令和 2 年度全路線に休日ダイヤを導入した。 ・令和 2 年度新型コロナウイルス感染症の影響による乗客数減少により特別ダイヤによる全日運行を開始した。 ・令和 2 年度運行体系見直しにより回数券を廃止した。 ・令和 4 年度全路線に年末年始ダイヤを導入した。 ・令和 6 年度、改善基準告示に伴い小田急バス路線の平日ダイヤを最終便の繰り上げを実施した。 ・広告の導入について、杉並区の導入事例やバス事業者との意見交換を実施した（令和 3・4・5 年度）。 その結果、紙媒体の掲示による広告が収入効率が良いことがわかった。 ・その他のダイヤ改正（令和 2 年度・3 年度）	○	・ムーバスは交通空白地域・不便地域を解消し、市民の生活を支えており、その維持とそのための見直しの必要性は高い。 ・住宅状況や路線バスのダイヤ改正等、外部環境の変化や市民ニーズに対応するため、フォローアップ調査等による路線の見直し検討は今後も実施していく必要がある。 ・運転手不足が進めば、ムーバスの維持継続は難しくなっていくため、対応する必要性は高い。 ・広告収入については財政部門から再三求められてはいるが、車内の掲示については、車内コミュニケーションへの活用も含めて検討する必要がある。 ・ 道路の混雑状況に関わらず同じダイヤ間隔のパターンダイヤとすることが労働環境の負担になっている側面があり、朝と夜、昼でのダイヤ間隔を変えるなど、乗客数等実態に合わせたパターンダイヤの検討も必要。	△	・ムーバスの維持は、市と事業者の協力体制を強化することで、当面の維持は可能であると考えるが、運転手不足は深刻で、運行に支障をきたしている。 ・ムーバスダイヤについては、調査により利用状況や道路混雑状況を把握し、見直し・検討を継続することは可能である。 ・運転手不足対応は、市だけの問題ではなく、全国規模で問題となっているため、人員確保のハードルは高い。 ・広告事業については、実施に向けて広告代理店を探すなど具体的な検討が必要だが、対応は可能である。	⇒ A	・ムーバスの維持とそのための見直しは、今後も継続していく。 ・持続可能な運行に向けた見直しは継続的に実施する。 ・運行路線 市民より、「バス交通空白・不便地域※の解消」、「200m間隔のバス停の設置」、「駅とできるだけ短時間で結ぶ」というコンセプトを最優先とし、新規路線や路線変更については、必要に応じて検討していく。 ・運賃 高齢者や子育て世代の移動の確保は他の課題の解決に繋がるという考えから、 利用者のみならず 市民みんなで支えるということが基本コンセプトになっており、運賃の あり方 は十分な検討が必要である。 ・ムーバスの運転手不足について市でどのような対策ができるか検討を行う。 ・広告収入の導入は、車内掲示の市民間の情報交換や市からの情報提供などを検討しながら、具体的検討を行う。（各バス会社の広告を扱う代理店等との具体的な導入についての打合せを行う。） ・ どのようにムーバスが支えられているのかを含め、市民全体へ周知していくことも必要である。
施策② 福祉 交通の維持・ 確保	②-1 「レモンキャブ」・「つながり」などによる武蔵野版・福祉交通の継続	○	・レモンキャブ、つながり、福祉タクシー利用券の交付を継続実施した。 【参考】レモンキャブ総利用件数 R1:17,544件／R2:13,799件／R3:15,177件／R4:15,235件／R5:15,928件 【参考】つながり延利用者数 R1:4,225人／R2:3,185人／R3:3,528人／R4:4,476人／R5:4,431人	○	・レモンキャブ、つながり共に高齢者や障がい者等の移動手段となっている。 ・福祉タクシー利用券の交付は障がい者等にとって必要なものになっている。	△	・レモンキャブ運行、福祉タクシー利用券の交付については当面は維持できる見込みである。 ・ レモンキャブの運行管理者の高齢化による退職に伴うノウハウの引継ぎに問題が生じており、社会福祉協議会と連携した対応が求められる。 ・つながりは民間の事業者を利用しており、担い手不足が深刻で維持が困難となる可能性がでてきた。	⇒ A	・つながりについては、維持が困難となりつつあるが、必要性が高い事業であるため、今後も継続的に実施する。 ・レモンキャブ、福祉タクシー利用券の交付については、必要性・実現可能性が高い事業であるため、今後も継続的に実施する。 ・レモンキャブでは、今後、運行管理等で、DXの活用等についても検討していき、 人手不足や運行ノウハウの継承に対応する必要がある。
	②-2 主要拠点における福祉車両の乗降場所の確保	△	三鷹駅北口駅前広場 ・今後の交通環境整備に合わせて確保できるよう検討を進めた。 ・令和元年度から実施している一般車両向けの交通島での乗降について、注意喚起看板の掲示を継続することにより、暫定的に福祉車両の停車ができるようにした。（令和 2 年度） ・タクシー乗り場について、朝の時間帯に東側に 50cm ずらす運用をすることで福祉車両スペースを確保した。（令和 2 年度） ○吉祥寺駅周辺には福祉車両を停車できる場所がないため、検討を進める。 ○武蔵境駅については北口、南口ともに 2 台程度停車できるスペースが確保できている。	○	・福祉車両の乗降場所の確保は最低限の維持に留まっており、今後もその継続とさらなるスペース確保の検討は必要。 ・吉祥寺駅北口においては、現状では、福祉車両専用の乗降スペースがないため、関連各課や各事業者も含め、場所の確保を検討し、整備を行う必要がある。	△	現状では物理的な問題があり、計画に沿った整備を待たなければならないため時間を要する。	⇒ A	実現可能性に懸念がある事業だが、必要性が高く、福祉交通の利便性を高める取組として、継続実施を行う。
	③-1 新たなタクシーサービスの検討	△	・「間」交通について、子育て世代や高齢者等に対して提供されている市・民間サービスを調査・整理したうえで、新たなサービスが必要か検討を行った。 ○ 民間のサービスの動向 ・妊婦対応のマタニティタクシー、通院など育児支援としての子育てタクシー、子どもの送迎支援を目的としたキッズタクシー事業を行っている。 マタニティタクシーは、特別な料金はかからず、登録制のため若干配車しやすいというメリットがある。（通常では断られる遠い距離の配車でも受けてもらえる等） ・タクシーの配車アプリ事業者（プラットフォーム）による利用者へのサービスメニューの多様化…従来からある「事前確定運賃」だけでなく、セダンやワンボックス車両、UD車両などを選択配車や日時指定のできる仕組みの精緻化を進めている。	×	・既存の民間サービス（タクシー等）で対応できるため、新たなタクシーサービスの必要性は低い。 ・経済的負担の軽減により「外出しやすさ」を増進させる場合は、 アプリを使用した電子クーポン券等の補助の方が、民間サービスの利用を圧迫することなく、低コストで効果的なサービス提供が可能と考えられるため、必要性は低い。	×		⇒ C	・ 人手不足やリソース不足の現状においては、新たなタクシーサービスを構築するのではなく、配車アプリなど既存の民間サービスを活用したサービスの検討に移行する。 ・経済的負担の軽減により「外出しやすさ」を増進させる場合は、費用補助についてタクシー券やアプリポイント等を検討する。

施 策	事 業	実施 状況	実施状況の詳細	必要性	必要性の詳細	実現可 能性	実現可能性の詳細	評価	次期計画に向けた方向性
施策③ 交 通・福祉分野 の「間」需要への対応	③-2 バス&ベビ吉による子育て支援移動サービス	△	・どのような連携サービスができるかについて子ども子育て支援課と検討を行った。 【ベビ吉実績】 R2まで 5 箇所、R3年度以降 4 箇所 吉祥寺パーキングプラザ、コピス吉祥寺、アトレ吉祥寺、キラリナ ※コロナによる貸し出し中止時期あり。 R1：9,975台／R2：652台／R3：1,060台／R4：1,761台／R5：3,098台	○	乳幼児を持つ方にとって、ベビーカーでの公共交通の利用は混雑時や乗降時等、困難を感じる場面もあるため、ベビ吉は可能な限り充実させていく必要がある。	△	・現在の協力店にとっても子育て世代の顧客獲得に繋がるサービスであり、維持継続については、今後も実現可能性は高い。 ・ベビーカーの増車は協力店の協力が必要であるが、設置にはスペースが必要であり大型店舗等に限られるため難しい。	⇒	A ベビ吉の継続及び活用しやすくなるための検討は、必要性・実現可能性が高いため、今後も実施する。 新規協力店の開拓に努める。 利用促進（バスでの広報周知）については、台数に限りがあるため、主管課と調整・検討していく。
	③-3 ちよいのり・相乗りタクシー	△	三鷹市での下記実証実験について視察・調査した。 【参考】 ・R4年10月24日より、三鷹市内の交通不便地域解消への取り組みとして、グリーンスローモビリティと、オンデマンドタクシー（乗り合い）の社会実験を行っているが、オンデマンドタクシーについては本年10月1日より隣接する運行エリアを拡大し、実証実験を続ける予定である。	×	実施自治体（三鷹市）のように、タクシーなどの民間サービスで対応できない場所が市内になく、必要性はない。	×		⇒	C 必要性がないため、検討を終了する。
	③-4 福祉タクシーの周知・利用促進	○	・引き続きホームページに福祉タクシー利用券交付事業、事業者一覧を掲載、「わたしの便利帳」、広報誌「つながり」、「障害者福祉のしおり」での周知を行い、利用促進を図った。	○	タクシー事業等福祉車両の情報提供は、障害者等の地域公共交通を利用できない方には必要不可欠である。	○	継続的な周知。利用促進は実現可能と考える。	⇒	A 必要性・実現可能性が高い事業であるため、今後も継続的に実施する。 市の福祉部門で、職員案内用の冊子を制作予定。 今後は対象者用のわかりやすく、コンパクトなものを作成するほか、インターネットでの情報提供も検討していく。
施策④ 自 転車交通等とバ ス交通の連携	④-1 バス＋自転車MaaSアプリの検討	△	・駐輪場の利用体系の見直しを行った。その結果、駐輪場不足による違法駐輪等が無くっている。 ・「新モビリティ分科会」を立ち上げ、公共交通のオープンデータ化についての勉強会を実施した。（令和2年度） ・必要性や実施方法等 について検討を行った。	×	・自転車駐輪場の空き情報は既に提供されており、R 5 年度時点で、駐輪場の設置は一定程度充足できている。 ・自転車に乗れない人または天気等により自転車に乗れない場合に、バスを利用する人が多い（住民インタビュー意見より）。そのため、自転車からバスに乗り換えて駅前等に出るという移動の需要は低いと考えられる。 ・当局のように狭く平坦な場所で自転車からバスへ乗り継ぐ必要性は低いと考えられる。	×	・システム検討・設計に多くの費用を要するため、実現が困難。 ・Massアプリの前提となるオープンデータ化が一部事業者では、未実施であることから実現は困難である。	⇒	C 検討を終了する。
	④-2 サイクル&バスライドの検討	△	・駐輪場の利用体系の見直しを行った。その結果、駐輪場不足による違法駐輪等が無くっている。 ・必要性や実施方法等 について検討を行った。	×	同上	×	バス停近くの駐輪場の用地確保が課題であり、実現は困難である。	⇒	C 検討を終了する。
	④-3 パーク&バスライドの推進	○	・ムーバーク事業を継続実施した。 【ムーバーク実績】 ○正式名称：ムーバークタイムズアトレ文化園 ○所在地：武蔵野市御殿山2-1 R1:17,094台／R2:17,326台／R3:20,477台/R4:21,163台／R5:22,383台 平均駐車台数 R3：56.1／R4：58.0／R5：61.2（台／日） ムーバス利用率 R3：0.4／R4：0.5／R5：0.4（％） 買い物利用率 R3：23.9／R4：22.8／R5：20.4（％）	○	渋滞緩和施策、違法駐車等の抑制としては一定の機能は果たしていると考えられるため、事業は必要であると考える。	○	継続は可能である。	⇒	A ・必要性・実現可能性が高い事業であるため、今後も継続的に実施する。 ・ムーバス利用率が低く、徒歩と思われる利用者が多いため、名称は検討が必要。 ・ムーバス割引の利用方法のアナウンスを徹底していく。
施策④ 自 転車交通等とバ ス交通の連携	④-4 自転車からバスへ転換する人を受け入れるサービスの検討	△	・駐輪場の利用体系の見直しを行った。その結果、駐輪場不足による違法駐輪等が無くっている。 ・必要性や実施方法等 について検討を行った。	×	・自転車駐輪場の空き情報は既に提供されており、R 5 年度時点で、駐輪場の設置は一定程度充足できている。 ・自転車に乗れない人または天気等により自転車に乗れない場合に、バスを利用する人が多い（住民インタビュー意見より）そのため、自転車からバスに乗り換えて駅前等に出るという移動の需要は低いと考えられる。 ・当局のように狭く平坦な場所で自転車からバスへ乗り継ぐ必要性は低いと考えられる。	×		⇒	C 状況を踏まえ、あり方を再検討する必要がある。
施策⑤ 分 か	⑤-1 地域公共交通の総合案内板及び総合案内マップ	△	・他自治体の事例を踏まえ、武蔵野市において効果的・効率的な総合案内マップのあり方について研究を行った。	○	・3 駅の総合案内板、駅改札付近でのバス・タクシーの案内表示については、吉祥寺駅南口を除き、既に設置し、多言語化等も対応済。 ・吉祥寺駅南口については、駅前整備に合わせて設置する必要がある。 ・総合案内マップについては、ネット検索できるため、必要性が薄い。 オープンデータ化されれば、さらに利便性が高まるものと考えられるため不要と考える。 ・アンケートなどの結果によると、案内板、マップともに、市民ニーズは高くない。 ・案内板に高額な新しいシステムを投入するほどのニーズはないと考えられる。	△	整備の段階になるまで時間を要し、また、まちづくり推進課との整備計画の段階での調整が必要であるが、実現は可能と考える。	⇒	A 吉祥寺駅南口の総合案内板の整備は、整備の段階になるまで時間を要するが、必要性が高いため、検討を継続する。

施 策	事 業	実施 状況	実施状況の詳細	必要性	必要性の詳細	実現可 能性	実現可能性の詳細	評価	次期計画に向けた方向性
りやすい情報の 提供	⑤-2 主要拠点での情報提供 強化	△	・杉並区にGTFSDデータの活用方法等について情報収集を行った。 ・国や東京都の実施する会議や講習会等に参加し研究に努めた。	○	長期的には、オープンデータ化はバス会社の負担軽減につながる。データを活用し、バスロケーションシステム等を導入できれば、利用者の利便性向上、利用者離れの防止、運転手の負担軽減につながるため、整備の必要性は高い。	△	オープンデータ化が一部事業者では、未実施であることから実現は困難である。	⇒ A	バス事業者の協力が必要なため、当面は実現可能性が低いが、必要性の高い事業であるため、今後も実現のため検討を継続する。
	⑤-3 バスナビによるリアルタイム 情報提供	○	・バスナビを継続実施した。 ・バス停に表示しているQRコードでバスナビのサイトにつながるかを点検、貼替えを実施した。	○	ムーバスにおいても交通事情により遅延は免れないため、リアルタイムでの運行情報提供は必要。	○	継続実施は可能。	⇒ B	必要性・実現可能性が高い事業であるため、今後も継続的に実施する。バスロケーションシステム対応の駅前バス停の設置やオープンデータ化等、さらなる利便性向上に向けた取組内容を検討する。
施策⑥ 駅周 辺まちづくりと 連携した交通 空間の有効活用	⑥-1 「NEXT-吉祥寺」に基づく 歩行者が優先される"歩いて 楽しいまち"の形成	△	【交通結節機能の再編】 ・吉祥寺駅南口駅前広場の整備を目指し、用地折衝を継続的に進めた。 ・「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に基づき、吉祥寺大通りの広場活用等について検討した。 【物流の改善】 ・吉祥寺活性化協議会等と連携し、荷さばきルールの啓発や共同集配送事業などの荷さばき対策を行った。 ・共同集配送事業について、事業効率の改善に向けた検討等を行った。	○	安全で快適な歩行者空間の創出、障がい者車両の停車スペース確保、地域公共交通の定時性、速達性の確保等必要性は高い。	△	現状では物理的な問題があり、整備の段階になるまで時間を要し、また、吉祥寺まちづくり事務所との整備計画の段階での調整が必要であるが、実現は可能と考える。 10年で目ざす到達点と定めており、整備の段階になるまで時間を要する。 吉祥寺駅周辺はスペースがなく、タクシーが駅前広場に入っていけないため、タクシーが利用しづらい状況にある。	⇒ A	実現可能性に懸念がある事業だが、必要性が高く、まちの魅力を向上させる取組として、継続実施を行う。パークエリアの将来像立案過程を注視し、今後の取組内容を検討する。 吉祥寺駅南口の総合案内板の整備は、整備の段階になるまで時間を要するが、必要性が高いため、検討を継続する。
	⑥-2 「三鷹駅北口街づくりビジョン」に基づく"ゆとりある駅前 空間"の創出	○	・交通体系の再編や駅前広場の2ロータリー化・拡張等の取組みについて、三鷹駅北口交通環境基本方針を策定した。 ・補助幹線道路整備に向け、用地買収及び仮整備を進めた。	○	障がい者用・一般乗用車の車両の停車スペース確保等必要性はある。	△	現状では物理的な問題があり、整備の段階になるまで時間を要し、また、まちづくり推進課との整備計画の段階での調整が必要であるが、実現は可能と考える。	⇒ A	実現可能性に懸念がある事業だが、必要性が高く、まちの魅力を向上させる取組として、継続実施を行う。
	⑥-3 武蔵境駅周辺における" 安全で歩いて楽しいまち"の形 成	○	・都市計画道路武3・4・2号線事業について、一部用地買収・仮整備を行った。	○	障がい者車両の停車スペース確保等必要性はある。	○	交通環境の変化に対する一定の見直しは可能。	⇒ A	必要性・実現可能性が高い事業であるため、今後も継続的に実施する。
施策⑦ 運行 環境の整備	⑦-1 ムーバスブランドを活用し た乗務員確保の取り組み	○	・ムーバス運行開始25周年を記念し、ヘッドマークを貼付した運行を実施した。 ・ムーバス運転士を対象に優良運転士表彰の実施した。 ・「親と子の武蔵野交通安全フェア2023」にてムーバスの乗車体験や運転士募集を実施した。 ・グッドデザイン・ロングライフデザイン賞に応募し、受賞した。	○	・運転手不足が運行の維持に大きな影響を与えており、市ができる対策の検討が必要である。 また、バス交通のサービス低下による自家用車や自転車利用の増加が懸念されることから、運転手確保が重要であると考える。 ・表彰・イベントの効果・必要性は低い。	△	・イベント、表彰の継続実施は可能。 ・市報・H P掲載には制限があるが、内部協議により効果的な広報は可能と考える。 ・抜本的な方法として、市による雇用が考えられるが、市とバス会社とで雇用条件や福利厚生等が、大きく変わること、運行補助金の内容が変わり、人件費について多額の予算措置が必要なこと等から十分な検討が必要であり、ハードルが高い。	⇒ B	必要性・実現可能性が高い事業であるため、今後も継続的に実施する。 また、運転手不足については 緊急性の高い問題であるため、市報・季刊むさしの・H P・バス停掲示・車内掲示など、新たな周知方法について検討を行い、採用活動にかかると事業者負担の軽減を図る。 その他、ムーバス運転手の労働環境の改善に向けて、カスタマーハラスメント防止等に関する呼びかけ・周知を行っていく。 ※すぐに実施できる内容については、計画策定前から推進していく。
	⑦-2 バス待ち環境の整備	△	・吉祥寺駅前のバス停の整列ラインの整備を行った。（令和2年度） ・三鷹駅北口駅前広場交通環境整備について検討を行った。	△	一定の整備は終了しており、必要性は低い。 ・現在、三鷹駅北口・吉祥寺駅南口の整備計画があり、今後新たな必要性が出てくる可能性がある。	△	整備の段階になるまで時間を要し、また、関係課との整備計画の段階での調整が必要であるが、実現は可能と考える。	⇒ A	整列ラインなどについて武蔵境駅についても検討する。その他、さらなるバス利用環境の向上に向けて、事業を継続する。
	⑦-3 次世代環境対応車両等 の普及促進	○	・引き続きUD車両やハイブリッド車両の導入普及を進めた。 ・地球環境に配慮したムーバスのEV化は、バス事業者やメーカーにヒアリングを行い費用対効果等の検証や、EV車両の視察を行った。また、グリーンセンターの電力の活用や市役所での充電等環境政策課と連携し、検討した。R6年度中の購入、R7年度の運行開始に向けて調整を行った。 民間の事業者では一定の整備が済んでいる。 ・グリーンセンターの夜間電力の有効活用については、管財課、環境政策課、バス会社との更なる協議・検討が必要。駐車スペース、運用面の課題が大きい。	○	・持続可能な社会を守るため必要である。 ・環境配慮車両の普及は、環境都市宣言をしている当市の取組として継続すべきである。 ・UD車両にも違いがあるため、適切な情報提供が必要。	△	・ムーバスへのEV車両導入については、充電施設の設置スペース不足等の物理的な問題があり、台数を増やしていくことは困難。	⇒ A	・必要性が高い事業であるため、今後も継続的に実施する。 ・ムーバスへのEV車両については、R7年度運行予定の車両の運行について十分な検証を実施して今後の方向性を決めていく。 ・UD車両のレベルの違い等、適切な情報提供を行っていく。
	⑦-4 新たなモビリティの必要 性・可能性についての検討	△	・国、東京都、他自治体の状況等、情報収集に努めた。 ・AIオンデマンド交通については、三鷹市大沢地区内の実証運行の視察やヒアリングを行った。	○	地域公共交通について広く動向を見て検討することは必要。	○	情報収集、検討は可能。	⇒ A	必要性・実現可能性が高い事業であるため、今後も継続的に実施する。

地域公共交通を取り巻く課題（令和7年2月20日時点）

各種データからみた現状・問題点

- ・人口の増加に伴い、公共交通の需要も増加し、供給量とのバランスが取れなくなる可能性がある。
- ・人口推計によると、老年人口と年少人口の増加が見込まれており、バス停までの歩行が難しい方も含め、高齢者や子ども・子育て世代に対する公共交通のニーズが高まる可能性がある。
- バス・医療施設では、診療所は駅の近くに密集し、バス通り沿いにも点在していることから、診療所に行くための交通手段としてのバスの必要性が高い。

サービス提供者からみた現状・問題点

- バス・バス乗務員が不足しており、サービス水準を維持することが困難になり、利便性の低下を招いている。
- ・吉祥寺駅発着の路線は、朝夕時間帯や荒天時等の混雑時は満員通過が生じており、供給が足りていない状況である。
- ・市内バス事業者においては、一部で GTFS データの未整備があり、統一したバスロケーションシステムがない。また、整備途上にある鉄道駅でのバス・タクシー乗り場案内などが不十分である。
- タクシー・タクシー配車アプリの浸透により、利便性の向上、需給バランスの改善が図られている。（デマンド交通の必要性は低い。）
- ・タクシードライバーは**運行シフトの改善により需要に対応しており**、日本版ライドシェアの必要性は低い。
- ・交通規制によりタクシー車両が進入できない道路・エリアがあり、きめ細かいサービスの提供ができていない
- 福祉・レモンキャブは、今後5年間で、多くの運行管理者が定年を迎え、運行管理の人手不足が生じる。
- ・駅前空間の不足や幅員が狭い道路があり走行環境に対する不安がある。

サービス利用者からみた現状・問題点

- ムーバス・身近な交通サービスとして、市民の多くから親しまれており、地域コミュニティ活性化にも寄与している。
- ・医療機関への通院等必要な外出に必須であるほか、買い物など外出の促進にもなっている。
- ・自転車混雑の低減、自家用車の渋滞抑制等に寄与している。
- バス・運賃については、全員が等しく料金を支払うというコンセプトは重要である。また、ワンコインであることはわかりやすく、利用しやすい。
- ・ムーバスは通勤、通学にも利用されている。
- バス・公共交通の現状（運転士不足等）や利用マナー等について認知がされていない。
- ・運行ルートや運行時間について更なる利便性を求める市民がいる。（公共施設を通るルート、早い時間帯の運行、早く到着したい）
- ・**運転手不足等による減便と人口増加により、混雑時の満員通過が生じており、乗り切れない利用者がある。**
- タクシー・配車アプリを使用しない場合、流しのタクシーがつかまりにくいと感じる方がいる。

上位・関連計画等からみた現状・問題点

- ・各駅前整備計画の検討は進んでいるものの、整備の用途は確定していない。（三鷹駅、吉祥寺駅）
- ・駐輪場の利用体系の見直しが行われたことで、駐輪環境と利便性が改善された。

社会情勢の変化からみた現状・問題点

- ・自動運転技術の進展によって、道路空間・駅前空間に求められる要件が変化することが見込まれる。
- ・予約管理・配車管理システム等によって、運行効率化・運行管理者の負担軽減等を図る取組が、全国的に進んでいる。
- ・コロナ禍の影響による生活様式の変容がみられる。
- ・進展を続けている AI やビッグデータの利活用等により、**効率的なダイヤ改正等の交通のDX化を行うことで、バス停更新や事務の負担軽減、乗務員の働き方改革や利用者の利便性の向上等**が期待できる。

課題① 既存の交通手段の連携・役割分担による、多様なニーズに柔軟に対応

- ・人口増加と少子高齢化の進捗により公共交通への需要が高く、特に朝夕時間帯や荒天時はバスに乗りきれない状況になる。また、今後も人口の増加が推計されており、多種多様なニーズに対応した供給の確保が求められる。
- ・ムーバスを含め、乗務員不足が深刻であり、現状構築されている「網羅的な公共交通ネットワーク」を持続可能なものとするために、市と事業者が一体となり対応策を検討・推進していく必要がある。
- ・乗務員の確保について、短期的な対応の実施・長期的な対応の検討を早急に行う必要がある。
- ・限られたリソースを十分活用し、効率的にニーズに対応する必要がある。

課題② 移動困難者に対応したきめ細かな地域公共交通の提供

- ・市内各地に住宅街が広がっており、高齢化は各地で進行している。高齢者人口の増加に伴い、移動に制約がある交通弱者や運転免許証自主返納者などに対応した交通環境の整備が今後さらに求められる。
- ・子育て世代の移動については、ベビーカーがバス等に載せづらいことをはじめ、困難な場合も多い。ニーズの高い個別輸送への対応についても検討が必要である。
- ・年少人口の増加も推計されており、子どもや子育て世代、妊産婦に対する公共交通サービスの提供が必要である。
- ・公共交通機関での移動が困難な方に対して、「レモンキャブ」「リフトタクシーつながり」事業を実施しているが、運転手不足やレモンキャブの運行管理者の高齢化などにより事業継続が困難になっていく可能性があり、対策が必要である。
- ・駅などの主要拠点で、福祉車両の乗降を安全に行う場所がなく、その確保が必要である。
- ・**吉祥寺駅ではタクシーやバスの降車場がなく、車いすやベビーカーの降車は特に危険である。**

課題③ 公共交通への理解促進のための周知

- ・ムーバスのコミュニティ機能の拡大等、長年親しまれてきたコミュニティバスであるムーバスの価値（みんなで支えるムーバス等）について市民の共通認識としていく必要がある。
- ・一方で、「運転士不足」など路線バスやムーバスが抱える問題や現状、「地域公共交通全体の中でのムーバスの役割」について、市民に十分に認識されていない状況であり、利用者や市民の理解促進を図る必要がある。

課題④ 道路空間や駅前広場空間の効果的な活用と再構築

- ・駅前の交通空間は、駅前ロータリーに一般車が進入することによるバス交通との錯綜（三鷹駅）や、空間不足により、バス・タクシー利用や歩行者等の利便性・安全性の問題（吉祥寺駅・三鷹駅）があり、総合的なまちづくりとしての対策が必要である。
- ・吉祥寺駅においてはバスの降車場、待機場がなく、利用者の安全性や定時性に問題があるため、対策が必要である。
- ・道路空間においては、歩道を走行する自転車と歩行者の事故の危険性や、自転車とバスとの錯綜が発生している。また、吉祥寺駅へ向かうタクシーはバスレーンを迂回する必要がある、目的地までの時間と距離が伸び、利用者の負担が増加する場合があり、総合的な対策が必要である。
- ・自動運転技術の進展等によって、道路空間・駅前空間に求められる要件が変化することが想定されることから、それらを含めて検討を行う必要がある。

課題⑤ 分かりやすい情報提供

- ・駅周辺のまちづくりや駅前空間の再構築に合わせて、公共交通のわかりやすい案内や情報提供を行うことが必要。
- ・武蔵野市のバス路線ではバスロケーションシステムが導入されている路線が多いが、各社共通のシステムがないため、総合的なバスの運行情報の提供が必要である。また、混雑状況は把握できない為、満車で乗車が難しい状態のバスの把握のための、混雑状況の情報提供も必要である。
- ・レモンキャブ等の対象とならない方に対して、民間事業者等の情報をわかりやすく伝えることが必要である。

【武蔵野市】地域公共交通に関する市民アンケート調査

日頃より武蔵野市の交通行政について、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

武蔵野市では、コミュニティバス「ムーバス」をはじめ、路線バス、タクシーといった公共交通や福祉交通（レモンキャブ、つながり）が運行されており、皆様の移動の需要に合わせたサービスを提供しております。道路交通状況や施設等の立地など、武蔵野市の環境が変化していく中で、今後も地域の皆様にとってより良いサービスの提供ができるよう、来年度「地域公共交通計画」を策定いたします。計画策定に役立てるため、皆様の普段の生活における交通サービスへのご意見をお聞かせいただきたいと思います。アンケートの主旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

2025 年 3 月 武蔵野市 交通企画課

〜ご記入にあたって〜

1. このアンケート用紙は、満 16 歳以上の市民の中から無作為に選ばれた 3,000 名の方にお送りしています。
2. この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ご本人による記入が困難な場合は、ご家族の方などが本人の考えなどを聞いて、代理で記入してください。
3. ご回答いただきました内容は、統計的な分析にのみ使用し、それ以外の目的に使用することは決してありません。また、お名前をご記入いただく必要もありませんので、回答者が特定されることもありません。
4. 記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れていただき、**2025年●月●日(●)** までに郵便ポストに投函してください。
5. オンラインでの回答をご希望の方は、スマートフォンで右記の QR コードを読み取るか、下記の URL からアンケートにアクセスしてください。
URL : <https://●●>

QR

○ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

武蔵野市役所 交通企画課地域交通係 担当：●●

電話番号 0422-60-1859

1. あなたご自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別を教えてください。(○は一つ)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は一つ)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------|
| 1. 16～19 歳 | 2. 20～24 歳 | 3. 25～29 歳 | 4. 30～34 歳 |
| 5. 35～39 歳 | 6. 40～44 歳 | 7. 45～49 歳 | 8. 50～54 歳 |
| 9. 55～59 歳 | 10. 60～64 歳 | 11. 65～69 歳 | |
| 12. 70～74 歳 | 13. 75～79 歳 | 14. 80～84 歳 | 15. 85 歳以上 |

70 歳以上の方はシルバーパスの保有状況を教えてください。(○は一つ)

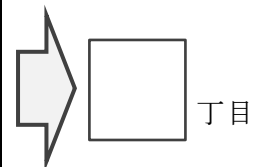
- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

問3 武蔵野市の居住歴を教えてください。(○は一つ)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|----------|
| 1. 1 年以内 | 2. 3 年以内 | 3. 5 年以内 | 4. 10 年以内 | 5. 10 年超 |
|----------|----------|----------|-----------|----------|

問4 あなたのお住まいを教えてください。
(○は一つ選択し、右の丁目に数字を入れてください)

- | | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 1. 吉祥寺東町 | 2. 吉祥寺南町 | 3. 御殿山 | 4. 吉祥寺本町 |
| 5. 吉祥寺北町 | 6. 中町 | 7. 西久保 | 8. 緑町 |
| 9. 八幡町 | 10. 関前 | 11. 境 | 12. 境南町 |
| 13. 桜堤 | | | |



問5 あなたの就業・就学の状況を教えてください。(○は一つ)

- | | | |
|--------------|------------------------|--------------|
| 1. 会社員・公務員 | 2. 自営業 | 3. パート・アルバイト |
| 4. 専業主婦・専業主夫 | 5. 大学・短大・
専門学校・予備校生 | 6. 高校生・高専生 |
| 7. 仕事をしていない | 8. その他 () | |

問6 あなたは運転免許をお持ちですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|------------|--------|-------|-----------|
| 1. 普通自動車以上 | 2. バイク | 3. 原付 | 4. 持っていない |
|------------|--------|-------|-----------|

問7 免許をお持ちの方は将来運転免許の返納を考えていますか。(○は一つ)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 近いうちに返納を考えている | 2. 返納を考えているが、難しいと感じている |
| 3. 高齢になったら返納を考える | 4. 返納は考えていない |
| 5. その他 () | |

問 8 あなたは自由に使える交通手段をお持ちですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 1. 自動車 | 2. バイク・原付 | 3. 自転車 | 4. 持っていない |
|--------|-----------|--------|-----------|

問 9 自転車をお持ちの方は駐輪場の定期利用をされていますか。(○は一つ)

定期利用されている方は駐輪場名を教えてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 定期利用していない | |
| 2. 定期利用している | ➡ () 駐輪場 |

問 10 およそ5年前(新型コロナウイルス感染症の流行前)と比較して、外出頻度は変わりましたか。

- | | |
|----------|----------------------------|
| 1. 増えた | ⇒月に____回 から 月に____回 程度に増えた |
| 2. 減った | ⇒月に____回 から 月に____回 程度に減った |
| 3. 変わらない | |

2. あなたの通勤・通学についてお伺いします。

問 11 通勤・通学の回数を教えてください。(○は一つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------------------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3～4回 | 3. 週に1～2回 |
| 4. 月に数回 | 5. 年に数回 | 6. 通勤・通学していない ⇒問 15 へ |

問 12 通勤・通学先を教えてください。(○は一つ、市外の方は区市町村名を記入)

- | | | | | |
|-----------------------|----------|--------|----------|----------|
| 1. 吉祥寺東町 | 2. 吉祥寺南町 | 3. 御殿山 | 4. 吉祥寺本町 | 5. 吉祥寺北町 |
| 6. 中町 | 7. 西久保 | 8. 緑町 | 9. 八幡町 | 10. 関前 |
| 11. 境 | 12. 境南町 | 13. 桜堤 | | |
| 14. 武蔵野市外 () 区・市・町・村 | | | | 15. 他県 |

問 13 通勤・通学の時間帯についてお伺いします。家を出る時間帯、帰宅する時間帯は大体何時台ですか。下の枠にあてはまるよう、数字を整数でご記入ください。

■家を出る時間は大体

時台

■家に帰る時間は大体

時台

問 14 通勤・通学の交通手段を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|-------------|----------------------|----------------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. ムーバス |
| 5. 路線バス | 6. 自家用車(家族・知人等による運転) | 7. 自家用車(自分で運転) | |
| 8. タクシー | 9. 福祉交通(レモンキャブ・つながり) | 10. 鉄道 | |
| 11. シェアサイクル | 12. その他 () | | |

3. あなたの日常の買い物についてお伺いします。(日用品や食料品)

問 15 普段、どのような場面で買い物(日用品や食料品)をされますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 買い物を主な目的として外出する | 2. 通院やその他の外出のついで |
| 3. 通勤・通学の帰り道 | 4. 宅配サービスなどを利用する |
| 5. 家族・知人に買ってきてもらう | 6. その他 () |

問 16 買い物(日用品や食料品)に出かける回数を教えてください。(○は一つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------------------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3～4回 | 3. 週に1～2回 |
| 4. 月に数回 | 5. 年に数回 | 6. 自分で買い物に出かけない ⇒問 21 へ |

問 17 普段、買い物(日用品や食料品)に出かける時間帯は大体何時台ですか。下の枠にあてはまるよう、数字を整数でご記入ください。(○は一つ)

【行き】 _____ 時台	【帰り】 _____ 時台
---------------	---------------

問 18 普段の買い物(日用品や食料品)先で最も利用する地域を教えてください。
(○は一つ)

- | | | |
|---------------|------------|------------|
| 1. 吉祥寺駅周辺 | 2. 三鷹駅北口周辺 | 3. 武蔵境駅周辺 |
| 4. 上記以外の武蔵野市内 | 5. 隣接する市や区 | 6. その他 () |

問 19 普段の買い物(日用品や食料品)でよく利用する場所を教えてください。
(例. ●●スーパー△△店)(複数記入も可能)

--

問 20 買い物(日用品や食料品)に出かけるときの交通手段を教えてください。
(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|-------------|----------------------|----------------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. ムーバス |
| 5. 路線バス | 6. 自家用車(家族・知人等による運転) | 7. 自家用車(自分で運転) | |
| 8. タクシー | 9. 福祉交通(レモンキャブ・つながり) | 10. 鉄道 | |
| 11. シェアサイクル | 12. その他 () | | |

4. あなたの通院についてお伺いします。

問 21 通院の回数を教えてください。(〇は一つ)

- | | | | |
|-----------|------------------|-----------|---------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3～4回 | 3. 週に1～2回 | 4. 月に数回 |
| 5. 年に数回 | 6. 通院しない ⇒問 26 へ | | |

問 22 普段の通院先で最も利用する地域を教えてください。(〇は一つ)

- | | | |
|---------------|------------|------------|
| 1. 吉祥寺駅周辺 | 2. 三鷹駅北口周辺 | 3. 武蔵境駅周辺 |
| 4. 上記以外の武蔵野市内 | 5. 隣接する市や区 | 6. その他 () |

問 23 普段の通院でよく利用する病院を教えてください。(複数記入も可能)

--

問 24 普段、通院に出かける時間帯は大体何時台ですか。下の枠にあてはまるよう、数字を整数でご記入ください。

【行き】 _____ 時台	【帰り】 _____ 時台
---------------	---------------

問 25 通院に出かけるときの交通手段を教えてください。(あてはまるもの全てに〇)

- | | | | |
|-------------|----------------------|----------------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. ムーバス |
| 5. 路線バス | 6. 自家用車(家族・知人等による運転) | 7. 自家用車(自分で運転) | |
| 8. タクシー | 9. 福祉交通(レモンキャブ・つながり) | 10. 鉄道 | |
| 11. シェアサイクル | | 12. その他 () | |

5. 通勤・通学、買い物、通院以外の移動についてお伺いします。

問 26 通勤・通学、買い物(日用品や食料品)、通院以外の外出先で、最も利用されるのはどちらですか。(〇は一つ)

- | | | |
|----------------|-------------|-------------------|
| 1. 飲食店 | 2. 文化・娯楽施設 | 3. 親戚・友人宅 |
| 4. 見舞い(病院、施設等) | 5. 行楽地・観光地 | 6. スポーツ施設 |
| 7. 市役所 | 8. 銀行・郵便局等 | 9. コミュニティセンター |
| 10. 集会・サークルの場 | 11. その他 () | 12. 外出しない ⇒問 29 へ |

問 27 上記の場所に出かける回数を教えてください。(〇は一つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3～4回 | 3. 週に1～2回 |
| 4. 月に数回 | 5. 年に数回 | |

問 28 上記の場所に出かける時間帯は大体何時台ですか。下の枠にあてはまるよう、数字を整数でご記入ください。

【行き】 _____ 時台	【帰り】 _____ 時台
---------------	---------------

問 29 上記の場所に出かけるときの交通手段を教えてください。
(あてはまるもの全てに○)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. ムーバス
5. 路線バス	6. 自家用車(家族・知人等による運転)	7. 自家用車(自分で運転)	
8. タクシー	9. 福祉交通(レモンキャブ・つながり)	10. 鉄道	
11. シェアサイクル	12. その他 (_____)		

6. あなたの普段の公共交通等の利用についてお伺いします。

問 30 次の交通手段の現在の利用頻度について、教えてください。また、新型コロナウイルス感染症拡大前(約5年前)から武蔵野市にお住いの方は、利用頻度の変化もあわせてお答えください。(各項目で○は一つ)

	現在の利用頻度		新型コロナ拡大前と比べて
①自家用車(自分で運転)	1. 週に3日以上 3. 月に2～3日程度 5. 月1日未満	2. 週に1～2日 4. 月1日程度 6. 利用しない	1. 利用が増えた 2. 変わらない 3. 利用が減った
②家族や知人等の送迎	1. 週に3日以上 3. 月に2～3日程度 5. 月1日未満	2. 週に1～2日 4. 月1日程度 6. 利用しない	1. 利用が増えた 2. 変わらない 3. 利用が減った
③自転車	1. 週に3日以上 3. 月に2～3日程度 5. 月1日未満	2. 週に1～2日 4. 月1日程度 6. 利用しない	1. 利用が増えた 2. 変わらない 3. 利用が減った
④路線バス	1. 週に3日以上 3. 月に2～3日程度 5. 月1日未満	2. 週に1～2日 4. 月1日程度 6. 利用しない	1. 利用が増えた 2. 変わらない 3. 利用が減った
⑤ムーバス	1. 週に3日以上 3. 月に2～3日程度 5. 月1日未満	2. 週に1～2日 4. 月1日程度 6. 利用しない	1. 利用が増えた 2. 変わらない 3. 利用が減った
⑥タクシー	1. 週に3日以上 3. 月に2～3日程度 5. 月1日未満	2. 週に1～2日 4. 月1日程度 6. 利用しない	1. 利用が増えた 2. 変わらない 3. 利用が減った

問 31 あなたが公共交通を利用する際、どのような方法で運行情報を調べていますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | |
|--|
| 1. 乗り換え検索アプリ (Yahoo!乗換案内、駅すばあと 等) を利用する |
| 2. 地図アプリ (Google マップ 等) を利用する |
| 3. インターネットの検索エンジン (Google、Yahoo!JAPAN 等) を使用する |
| 4. 鉄道会社やバス会社のアプリを閲覧する |
| 5. 紙の時刻表やパンフレットを参照する |
| 6. 家族や友人に情報を聞く |
| 7. 駅員やバス運転手に直接尋ねる |
| 8. 駅やバス停に行ってから時刻表を確認する |
| 9. その他 () |

問 32 各バス事業者のホームページ(バスナビ、バス位置情報)で、路線バスやムーバスの運行状況・バス接近情報等を確認することができます。このようなサービスがあることをご存じでしたか。(○は一つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 知っているが利用したことはない |
| 3. 知らなかった ⇒問 33 へ | |

問 33 上記サービスを利用したことがある方に伺います。利用された感想を教えてください。(○は一つ)

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. 使いやすかった | 2. 使いにくかった | 3. どちらとも言えない |
|------------|------------|--------------|

問 34 ご自宅の最寄りのバス停名を教えてください。

	バス停
--	-----

問 35 そのバス停までは、歩いて何分くらいかかりますか。また、おおよその距離はどの程度ですか。(分かる範囲で整数をご記入ください)

歩いて _____分くらい	バス停と自宅の距離_____m くらい
---------------	---------------------

問 36 日常生活で、最も利用する鉄道駅はどこですか。(○は一つ)

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------------|
| 1. 武蔵境駅 | 2. 三鷹駅 | 3. 吉祥寺駅 | 4. 武蔵野市外の鉄道駅 |
|---------|--------|---------|--------------|

問 37 上の質問で選んだ鉄道駅に向かうまでの交通手段は、何を利用されていますか。天気の良い日(晴れ、曇り)と悪い日(雨)のそれぞれについて、最も多いもの、2番目に多いものを教えてください。(下表の交通手段から選んで番号をご記入ください)

	1 番多い 交通手段	2 番目に多い 交通手段
天気の良い日(晴れ、曇り)		
天気の悪い日(雨)		



- | | | | |
|-------------|----------------------|----------------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. ムーバス |
| 5. 路線バス | 6. 自家用車(家族・知人等による運転) | 7. 自家用車(自分で運転) | |
| 8. タクシー | 9. 福祉交通(レモンキャブ・つながり) | 10. 鉄道 | |
| 11. シェアサイクル | 12. その他 () | | |

7. あなたの公共交通に対するご意見についてお伺いします。

問 38 日常生活において、武蔵野市の公共交通等の外出手段に満足していますか。(○は一つ)

- | | | | | |
|-------|---------|--------------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらとも言えない | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|--------------|---------|-------|

問 39 武蔵野市の公共交通等について、満足していない点を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------|
| 1. 駅・バス停まで遠い | 2. 目的地に行くバスがない | 3. バスの運行本数が少ない |
| 4. バスの乗り降りが大変 | 5. バス運賃が高い | 6. タクシー料金が低い |
| 7. タクシーを呼びにくい | 8. タクシーの乗場がない | 9. タクシーの降車場がない |
| 10. バス降車場がない | 11. 福祉車両の乗降場がない | 12. 駐車が足りない |
| 13. バイク駐車が足りない | 14. 駐輪場が足りない | 15. 自転車の走行環境が悪い |
| 16. 家族や知人等に送迎を頼めない | 17. その他 () | |

問 40 ムーバスが運行していることによる価値（利用価値・存在価値）として、あなたの考えにあてはまるものを教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 買い物に行きやすくなる
2. 通院がしやすくなる
3. 通勤・通学がしやすくなる
4. 地域の集まりやイベント、会食に出かけやすくなる
5. 自家用車がなくても生活ができる
6. 自転車がなくとも生活できる
7. 知人や家族に送迎を頼まずに済む
8. 知人や家族を送迎することが減る
9. 幼児連れ・子ども連れでも外出しやすくなる
10. 鉄道を利用しやすくなる
11. 路線バスを利用しやすくなる
12. 駅からタクシーを利用しやすくなる
13. 子どもが喜ぶ
14. コミュニティボードなどを通じて地域の情報を入手できる
15. 地域の治安が良くなる
16. 地域の交通安全につながる
17. 地域のコミュニケーションが増える
18. 地域への愛着が増す
19. 地域経済の活性化につながる
20. 地域活動が活発になる
21. 将来の移動に関する不安が軽減される
(ご自身に関する不安)
22. 将来の移動に関する不安が軽減される
(ご家族・知人に関する不安)
23. 将来も安心して住み続けられる
24. 市外の知人・家族等に自慢できる
25. その他 ()
26. どれもあてはまらない

■上記のうち、最も重要と感じるものの番号をご記入ください：

Page 10

武蔵野市における公共交通等について、何かご意見がありましたら、ご記入ください。

--

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

お書き漏れのないようご確認いただき、●月●日（●）までにご投函ください。

武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画
令和7（2025）年度～令和11（2029）年度

令和7（2025）年1月

武蔵野市

目 次

第1章 武蔵野市における長期計画・調整計画について	1
（1）これまでのあゆみ	2
（2）武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画の策定について	2
（3）第二次調整計画の位置付けと計画期間について	3
（4）計画見直しのサイクルについて	4
第2章 施策の体系（テーマ別の見直し）	5
（1）就労を含めた高齢者の社会参加の支援	6
（2）子育て世代への外出支援	8
（3）今後の学校改築のあり方の検討	9
（4）吉祥寺イーストエリアのまちづくり	10
（5）吉祥寺パークエリアのまちづくり	10
第3章 財政計画	13
参考資料	21
参考資料1 武蔵野市自治基本条例	22
参考資料2 武蔵野市長期計画条例・条例施行規則	27
参考資料3 第六期長期計画・第二次調整計画策定の流れ	29
参考資料4 用語説明	30
参考資料5 第六期長期計画・調整計画付表及び参考資料	32
参考資料6 第六期長期計画・第二次調整計画策定委員会 委員名簿	33

《 第六期長期計画・第二次調整計画をお読みいただくうえでの注意事項 》

第六期長期計画・第二次調整計画は、市長公約のうち第六期長期計画・調整計画から読み取ることが難しいテーマ、計画期間及び財政計画に絞って策定を行っています。その他の内容は第六期長期計画・調整計画が引き継がれます。

そのため計画の全体把握には、第六期長期計画・調整計画もあわせてお読みいただく必要があります。

武蔵野市第六期長期計画・調整計画 ▶



第 1 章

武蔵野市における長期計画・調整計画について

(1) これまでのあゆみ

武蔵野市は、昭和 46(1971)年の最初の「基本構想・長期計画」から、市民参加・議員参加・職員参加をはじめとした「武蔵野市方式」と呼ばれる計画策定に取り組み、これまで半世紀にわたり、「市民自治」を原則として、長期計画に基づく計画的な市政運営を推進してきた。市民自治とは、市民が主体となって自らの住むまちを築き運営していくという考え方である。

この間、公共施設や下水道などの市民生活の基盤が計画的に整備されるとともに、福祉や教育・環境など各分野で市民と行政の協働による施策が展開され、市民生活全般の水準は着実に高まった。

市民自治の考え方は、本市の市政運営の最も重要な原理として今なお引き継がれている。平成 23(2011)年の地方自治法改正により、基本構想策定の法的な義務付けが廃止されたが、長きにわたる武蔵野市方式による計画策定の歴史を踏まえ、武蔵野市方式を制度化した武蔵野市長期計画条例を平成 23(2011)年 12 月に制定した。

また、4 年ごとに策定される長期計画のみならず、様々な市政課題解決のために策定される専門的・具体的な個別計画においても、パブリックコメントや意見交換会の実施など、幅広く市民の参加や意見を求めることが、武蔵野市方式という市政運営の一般的なスタイルとなっている。

このような市民自治の理念、市政運営のスタイルを未来へ継承し、発展させていくことを目的とした武蔵野市自治基本条例*（以下「自治基本条例*」という。）が令和 2(2020)年 4 月に施行された。

令和 4(2022)年度から令和 5(2023)年 11 月にかけて策定された、第六期長期計画・調整計画においても、自治基本条例*及び武蔵野市長期計画条例に基づき、これまで培ってきた武蔵野市方式による策定方式を継承しつつ、対面のみならずオンラインによる策定委員会の傍聴や意見交換・ワークショップの実施のほか、中高生世代と策定委員会の意見交換などの新たな手法を試みながら、より多様で広範な市民参加によって策定を行い、第六期長期計画・調整計画は令和 5(2023)年 11 月に答申を受けた。

答申直後の 12 月に市長選挙が行われ、新市長のもと、市民参加・議員参加・職員参加をはじめとした武蔵野市方式で丁寧な議論を積み重ね策定された答申を尊重し、令和 6(2024)年 1 月に計画が決定された。

(2) 武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画の策定について

令和 6(2024)年 4 月より第六期長期計画・調整計画を開始し、市政運営を着実に進めているが、いくつかの市長公約については読み取ることが難しいという課題が残った。そこで、4 月に武蔵野市第六期長期計画・第二次調整計画（以下「第二次調整計画」という。）庁内推進本部を設置し、市長公約のうち第六期長期計画・調整計画から読み取ることが難しいテーマに絞って策定を行っていくことなどの基本的な考え方を定めた。

7 月に武蔵野市長期計画条例及び同条例施行規則の規定に基づき、計画案の作成及び答申について求めるため、第二次調整計画策定委員会が発足され、市長より諮問がなされた。公約の多くは第

六期長期計画・調整計画から読み取ることができるという意見もあったが、記述の明確化や強調すべき取組み、状況の変化等に対応するため加筆修正を行うこととし、第二次調整計画を策定した。

《第二次調整計画で議論したテーマ》

- 1 就労を含めた高齢者の社会参加の支援
- 2 子育て世代への外出支援
- 3 今後の学校改築のあり方の検討
- 4 吉祥寺イーストエリアのまちづくり
- 5 吉祥寺パークエリアのまちづくり

《第二次調整計画の基本的な考え方》

- 1 第六期長期計画の議決事項「武蔵野市第六期長期計画のうち市政運営の基本理念及び施策の大綱について」の枠組みの中で見直しを行う。
- 2 市長公約について、第六期長期計画・調整計画から読み取ることが難しいところにテーマを絞って策定する。
- 3 市長公約の速やかな実現を図ることができるよう、第二次調整計画を令和6(2024)年度中に策定する。
- 4 テーマを絞って速やかに策定するため、可能な範囲で市民参加・議員参加・職員参加を中心とした「武蔵野市方式」に則り策定する。そのため、人口推計の実施や地域生活環境指標の作成、討議要綱の作成は行わない。
- 5 第二次調整計画の策定にあたっては、現在策定中の個別計画等との調整を行う。

(3) 第二次調整計画の位置付けと計画期間について

第二次調整計画は、記載の5つのテーマ、計画期間及び財政計画に絞って計画策定を行い、第二次調整計画の施策の体系（テーマ別の見直し）、計画期間及び財政計画に記載されている内容以外は第六期長期計画・調整計画を引き継ぐものとする。

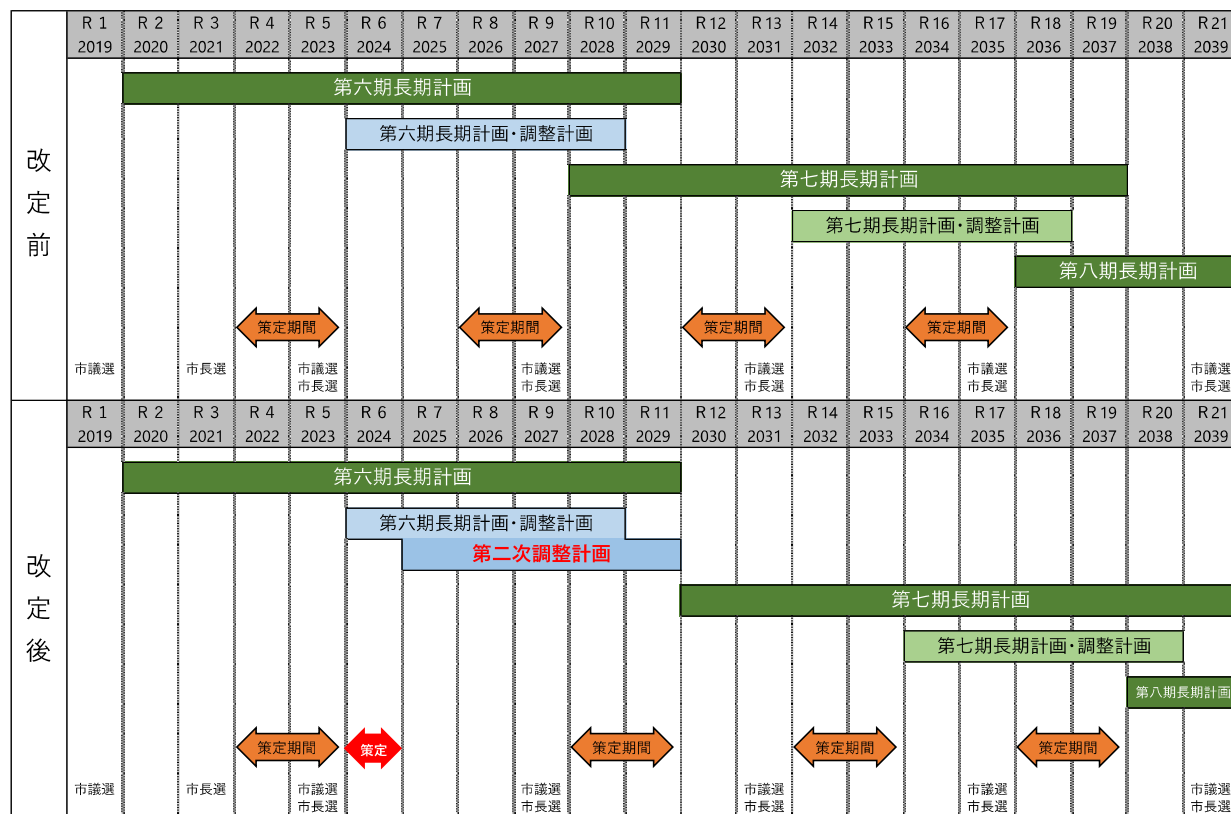
第二次調整計画の計画期間については、第六期長期計画・調整計画から引き継いだ内容も含め令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までとする。

(4) 計画見直しのサイクルについて

第六期長期計画・調整計画の計画見直しのサイクルでは、第七期長期計画について、令和 8 (2026) 年度から策定、令和 10 (2028) 年度から計画開始とする想定であったが、この場合、策定委員会への諮問から答申までの間に市長選挙及び市議会議員選挙を挟むこととなる。

こうした課題を解決するため、第七期長期計画の策定及び計画開始をそれぞれ 2 年後ろ倒し、市長選挙及び市議会議員選挙後、速やかに次期計画の策定を始められるサイクルとする。

■ 計画見直しのサイクル



≪ 長期計画と調整計画について ≫

長期計画・・・目指すべき将来像を示し、その実現に向けた政策を定める 10 年間の計画。前期 5 年を実行計画（個別の施策や事業を前半 5 年間で実行していくための計画）、後期 5 年を展望計画（優先順位が劣るものや財政的事実で実施が難しいものなど、長期的な視点で展望する計画）としている。

調整計画・・・長期計画策定以降の社会情勢等の変化や実行計画の進捗状況を踏まえ、新たに策定する実行計画。実行計画に掲げた施策のうち、事業未着手、目標未到達等の施策への対応、展望計画として掲げた施策の検討、長期計画策定時からの社会状況の変化により求められる施策についての議論を主軸に、時代背景に応じて見直し、策定を行う。

第2章

施策の体系

(テーマ別の見直し)

《資料の読み方》

第六期長期計画・調整計画では6つの分野、112の施策によって施策の体系を構成していますが、第二次調整計画はそのうち4つの分野、8つの施策の一部を見直しました。見直しを行った施策は全文掲載し、見直しを行った範囲は太字で表示しています。

議論したテーマ	見直しを行った第六期長期計画・調整計画の施策
1 就労を含めた高齢者の社会参加の支援	健康・福祉 基本施策 1 ① 「健康長寿のまち武蔵野」の推進 (P49) 平和・文化・市民生活 基本施策 7 ① 産業の振興 (P78)
2 子育て世代への外出支援	子ども・教育 基本施策 3 ① まちぐるみで子どもと子育て家庭を応援する事業の推進 (P63) 都市基盤 基本施策 3 ② 市民の移動手段の確保 (P94)
3 今後の学校改築のあり方の検討	子ども・教育 基本施策 5 ④ 学校改築の着実な推進と安全・安心かつ適切な施設環境の確保 (P67)
4 吉祥寺イーストエリアのまちづくり	平和・文化・市民生活 基本施策 5 ② 文化振興基本方針に基づく文化施策の推進 (P75)
5 吉祥寺パークエリアのまちづくり	都市基盤 基本施策 3 ③ 地域の実態に沿った自転車利用環境の整備 (P94) 都市基盤 基本施策 6 ① 吉祥寺駅周辺 (P98)

(2) 子育て世代への外出支援

■ 第六期長期計画・第二次調整計画

【子ども・教育】

文中のページ表記は第六期長期計画・調整計画冊子のページを示します。

基本施策3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

① まちぐるみで子どもと子育て家庭を応援する事業の推進（P63）

子どもと子育て家庭への支援については、子育てをしている家庭や保護者のみならず、社会全体で取り組む必要がある。

地域社会全体で子どもと子育て家庭を応援するため、市民や事業者との連携、協働の事業を進め、子どもがいる世帯が働きやすいまちづくり、子どもと一緒に訪れやすいまちづくりを推進する。また、子どもと一緒に安心して外出できる施策を移動の負担が大きい世代を中心に実施する。武蔵野のまち全体で、あらゆる分野で子どもの視点に立った、子どもと子育てを応援するまちを推進する施策を実施していく。また、子どもと子育て家庭を支援する事業やイベント情報を適時適切に提供することにより、まちぐるみで子どもと子育て家庭を応援するメッセージを強く発信する。



第六期長期計画・調整計画
子ども・教育分野

【都市基盤】

基本施策3 誰もが利用しやすい交通環境の整備

② 市民の移動手段の確保（P94）

高齢化の進行等に伴い、交通弱者に対応した交通環境の整備が求められる一方、地域公共交通*における乗務員不足等も生じている。現在の地域公共交通*網を維持しつつ、限られた交通資源を相互補完し、効果的かつ効率的に活用していく必要がある。また、地域公共交通*の利用に不便を感じながらも、レモンキャブ*やリフトタクシーつながり*の登録対象とならない高齢者・子育て世代等に対して、地域公共交通*と福祉交通の連携等による対応を検討する。ムーバス*の事業展開や料金体系については、今後の市民サービスのあり方、受益者負担や公平性、事業効率性等、様々な視点から検討する。



第六期長期計画・調整計画
都市基盤分野

ムーバスの年末年始ダイヤについて

1 対象路線

ムーバス全路線（7路線9ルート）

2 導入の背景・目的

- （1）年間の乗客数平均と比較して、年末年始の期間においては利用者数が減少しており、平成29年度より年末年始ダイヤを導入している。昨年度に継続して年末年始ダイヤによる運行を行うことにより、効率化とともに収支の改善を図るため。
- （2）乗務員の労働環境改善のため。

3 実施内容

（1）対象期間

年末（12月30日）から年始（1月3日）までの計5日間

（2）便数について

平日ダイヤ比 1日55便減、休日ダイヤ比 1日20便減

参考：ムーバス年末年始ダイヤ発車時刻比較一覧表

- ・ 1、2、4、6号路線（関東バス運行路線）：別紙1のとおり
- ・ 3、5、7号路線（小田急バス運行路線）：別紙2のとおり

4 実績

- ・ ムーバス年末年始における乗客者数：別紙3のとおり

5 周知方法

市報、ホームページ 掲載（12月15日号）

各停留所 掲示

ムーバス年末年始ダイヤ発車時刻比較一覧表

関東バス株式会社

1号路線 吉祥寺東循環

※年末年始ダイヤとの差を網掛けで表示。

年末年始ダイヤ／41便				
吉祥寺駅北口発				
8	0		30	
9	0		30	
10	0		30	
11	0	15	30	45
12	0	15	30	45
13	0	15	30	45
14	0	15	30	45
15	0	15	30	45
16	0	15	30	45
17	0	15	30	※45
18	0		30	
19	0		30	
20	0		30	
21	※0			
※吉祥寺駅北口止まり				

平日ダイヤ／53便				
吉祥寺駅北口発				
8	迂回0	迂回15	30	45
9	0	15	30	45
10	0	15	30	45
11	0	15	30	45
12	0	15	30	45
13	0	15	30	45
14	0	15	30	45
15	0	15	30	45
16	0	15	30	45
17	0	15	30	45
18	0	15	30	45
19	0	15	30	45
20	0	15	30	45
21	※0			
迂回・・・美大通りから松籟公園まで通過 ※・・・吉祥寺駅北口止まり				

休日ダイヤ／47便				
吉祥寺駅北口発				
8	0		30	
9	0	15	30	45
10	0	15	30	45
11	0	15	30	45
12	0	15	30	45
13	0	15	30	45
14	0	15	30	45
15	0	15	30	45
16	0	15	30	45
17	0	15	30	45
18	0	15	30	※45
19	0		30	
20	0		30	
21	※0			
※・・・吉祥寺駅北口止まり				

2号路線 吉祥寺北西循環

※年末年始ダイヤとの差を網掛けで表示。

年末年始ダイヤ／57便				
吉祥寺駅北口発				
8	2		22	42
9	2		22	42
10	2	14	26	38 50
11	2	14	26	38 50
12	2	14	26	38 50
13	2	14	26	38 50
14	2	14	26	38 50
15	2	14	26	38 50
16	2	14	26	38 50
17	2	14	26	38 50
18	2	※12	22	42
19	2		22	42
20	2		22	※42
21	※2			
※・・・けやき並木止まり				

平日ダイヤ／63便				
吉祥寺駅北口発				
8	2	14	26	38 50
9	2	14	26	38 50
10	2	14	26	38 50
11	2	14	26	38 50
12	2	14	26	38 50
13	2	14	26	38 50
14	2	14	26	38 50
15	2	14	26	38 50
16	2	14	26	38 50
17	2	14	26	38 50
18	2	14	26	38 50
19	2	※12	22	42
20	2		22	※42
21	※2			
※・・・けやき並木止まり				

休日ダイヤ／67便				
吉祥寺駅北口発				
8	2		22	42
9	2		22	42
10	2	14	26	38 50
11	3	13	23	33 43 53
12	3	13	23	33 43 53
13	3	13	23	33 43 53
14	3	13	23	33 43 53
15	3	13	23	33 43 53
16	3	13	23	33 43 53
17	3	13	23	33 43 53
18	2	14	※20	26 38 50
19	2	※12	22	42
20	2		22	※42
21	※2			
※・・・けやき並木止まり				

4号路線 三鷹駅北西循環

※年末年始ダイヤとの差を網掛けで表示。

年末年始ダイヤ／30便				
三鷹駅北口発				
8		迂回30		
9	10		50	
10		30		
11	10	30	50	
12	10	30	50	
13	10	30	50	
14	10	30	50	
15	10	30	50	
16	10	30	50	
17	10	30	50	
18	※10	30		
19	10		50	
20		※30		
迂回・・・けやき橋北から久保公園・とらいふ武蔵野まで通過 ※・・・三鷹駅北口止まり				

平日ダイヤ／38便				
三鷹駅北口発				
8		迂回30	迂回50	
9	10	30	50	
10	10	30	50	
11	10	30	50	
12	10	30	50	
13	10	30	50	
14	10	30	50	
15	10	30	50	
16	10	30	50	
17	10	30	50	
18	10	30	50	
19	10	30	50	
20	10	30	★50	
迂回・・・けやき橋北から久保公園・とらいふ武蔵野まで通過 ★・・・西久保三丁目止まり				

休日ダイヤ／34便				
三鷹駅北口発				
8		迂回30	迂回50	
9	10	30	50	
10	10	30	50	
11	10	30	50	
12	10	30	50	
13	10	30	50	
14	10	30	50	
15	10	30	50	
16	10	30	50	
17	10	30	50	
18	※10	30		
19	10		50	
20		★30		
迂回・・・けやき橋北から久保公園・とらいふ武蔵野まで通過 ※・・・三鷹駅北口止まり ★・・・西久保三丁目止まり				

6号路線 三鷹吉祥寺循環

※年末年始ダイヤとの差を網掛けで表示。

年末年始ダイヤ／34便				
三鷹駅北口発				
7	0		40	
8		20		
9	0		40	
10		20		
11	0	20	40	
12	0	20	40	
13	0	20	40	
14	0	20	40	
15	0	20	40	
16	0	20	40	
17	0	20	40	
18	0	20	※40	
19	0		40	
20		20		
21	※0			
※・・・三鷹駅止まり				

平日ダイヤ／43便				
三鷹駅北口発				
7	0	20	40	
8	0	20	40	
9	0	20	40	
10	0	20	40	
11	0	20	40	
12	0	20	40	
13	0	20	40	
14	0	20	40	
15	0	20	40	
16	0	20	40	
17	0	20	40	
18	0	20	40	
19	0	20	40	
20	0	20	※40	
21	※0			
※・・・三鷹駅止まり				

休日ダイヤ／34便				
三鷹駅北口発				
7				
8		20		
9	0		40	
10	0	20	40	
11	0	20	40	
12	0	20	40	
13	0	20	40	
14	0	20	40	
15	0	20	40	
16	0	20	40	
17	0	20	40	
18	0	20	40	
19	※0	20		
20	0		※40	
21				
※・・・三鷹駅止まり				

ムーバス年末年始ダイヤ発車時刻比較一覧表

小田急バス株式会社

3号路線 境南東循環				※年末年始ダイヤとの差を網掛けで表示。			
年末年始ダイヤ（休日ダイヤ）／38便				平日ダイヤ／41便			
武蔵境駅南口発				武蔵境駅南口発			
7			40	7	0	20	40
8	0	20	40	8	0	20	40
9	0	20	40	9	0	20	40
10	0	20	40	10	0	20	40
11	0	20	40	11	0	20	40
12	0	20	40	12	0	20	40
13	0	20	40	13	0	20	40
14	0	20	40	14	0	20	40
15	0	20	40	15	0	20	40
16	0	20	40	16	0	20	40
17	0	20	40	17	0	20	40
18	0	20	40	18	0	20	40
19	0	20	40	19	0	20	40
20	※0			20	0	※20	
21				21			
※・・武蔵野赤十字病院止まり				※・・武蔵野赤十字病院とまり			

3号路線 境南西循環				※年末年始ダイヤとの差を網掛けで表示。			
年末年始ダイヤ（休日ダイヤ）／48便				平日ダイヤ／55便			
武蔵境駅南口発				武蔵境駅南口発			
7			47	7	2	17	32 47
8		17	47	8	2	17	32 47
9	2	17	32 47	9	2	17	32 47
10	2	17	32 47	10	2	17	32 47
11	2	17	32 47	11	2	17	32 47
12	2	17	32 47	12	2	17	32 47
13	2	17	32 47	13	2	17	32 47
14	2	17	32 47	14	2	17	32 47
15	2	17	32 47	15	2	17	32 47
16	2	17	32 47	16	2	17	32 47
17	2	17	32 47	17	2	17	32 47
18	2	17	32 47	18	2	17	32 47
19	2	17	32 47	19	2	17	32 47
20	※2			20	2	17	※32
21				21			
※・・武蔵境営業所止まり				※・・武蔵境営業所止まり			

5号路線 境・東小金井線				※年末年始ダイヤとの差を網掛けで表示。			
年末年始ダイヤ（休日ダイヤ）／26便				平日ダイヤ／28便			
武蔵境駅北口発				武蔵境駅北口発			
7			54	7	24		54
8	24		54	8	24		54
9	24		54	9	24		54
10	24		54	10	24		54
11	24		54	11	24		54
12	24		54	12	24		54
13	24		54	13	24		54
14	24		54	14	24		54
15	24		54	15	24		54
16	24		54	16	24		54
17	24		54	17	24		54
18	24		54	18	24		54
19	24		54	19	24		54
20	24			20	24	54	
21				21			

5号路線 境西循環				※年末年始ダイヤとの差を網掛けで表示。			
年末年始ダイヤ（休日ダイヤ）／51便				平日ダイヤ／57便			
武蔵境駅北口発				武蔵境駅北口発			
7			50	7	5	20 35	50
8	5	20	35 50	8	5	20	35 50
9	5	20	35 50	9	5	20	35 50
10	5	20	35 50	10	5	20	35 50
11	5	20	35 50	11	5	20	35 50
12	5	20	35 50	12	5	20	35 50
13	5	20	35 50	13	5	20	35 50
14	5	20	35 50	14	5	20	35 50
15	5	20	35 50	15	5	20	35 50
16	5	20	35 50	16	5	20	35 50
17	5	20	35 50	17	5	20	35 50
18	5	20	35 50	18	5	20	35 50
19	5	20	35 50	19	5	20	35 50
20	5	20		20	5	20	35 50
21				21	5		

7号路線 境・三鷹循環				※年末年始ダイヤとの差を網掛けで表示。			
年末年始ダイヤ（休日ダイヤ）／26便				平日ダイヤ／28便			
武蔵境駅北口発				武蔵境駅北口発			
7			30	7	0		30
8	0		30	8	0		30
9	0		30	9	0		30
10	0		30	10	0		30
11	0		30	11	0		30
12	0		30	12	0		30
13	0		30	13	0		30
14	0		30	14	0		30
15	0		30	15	0		30
16	0		30	16	0		30
17	0		30	17	0		30
18	0		30	18	0		30
19	0		30	19	0		30
20	0			20	0	30	
21				21			

〇令和6年4月1日より、小田急バス全路線で平日の最終便を1便繰り上げ。

ムーバス年末年始ダイヤにおける乗客者数について

令和 6（2024）年度

※年度 1 日平均以下を網掛け表示

	12月30日(月)	12月31日(火)	1月1日(水)	1月2日(木)	1月3日(金)	1月までの 1日平均
1号	798	687	480	783	694	959.4
2号	1,633	1,180	851	1,512	1,409	1,661.0
3号境南東	298	234	235	252	246	442.3
3号境南西	480	404	424	430	428	766.8
4号	564	414	343	486	427	756.2
5号境西	557	446	468	520	431	735.3
5号東小金井線	408	338	267	434	327	562.2
6号	523	521	312	532	463	812.4
7号	245	184	136	196	208	318.9
合計	5,506	4,408	3,516	5,145	4,633	7,014.4

令和 5（2023）年度

※年度 1 日平均以下を網掛け表示

	12月30日(土)	12月31日(日)	1月1日(月)	1月2日(火)	1月3日(水)	年度 1 日平均
1号	760	689	370	863	699	895.1
2号	1,481	1,165	818	1,597	1,408	1,568.9
3号境南東	251	247	178	259	222	461.1
3号境南西	444	397	321	492	386	700.8
4号	505	389	324	451	356	685.9
5号境西	543	476	444	529	545	791.8
5号東小金井線	431	266	299	426	327	576.1
6号	565	421	306	447	480	731.9
7号	277	193	164	237	181	355.1
合計	5,257	4,243	3,224	5,301	4,604	6,766.7

令和 4（2022）年度

※年度 1 日平均以下を網掛け表示

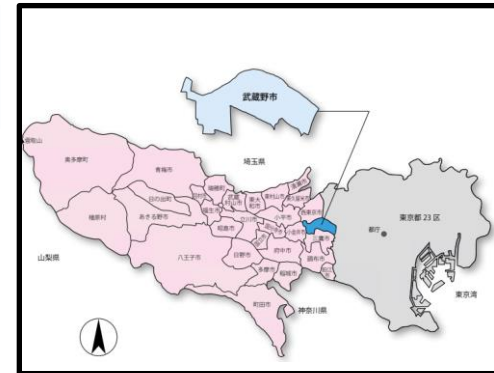
	12月30日(金)	12月31日(土)	1月1日(日)	1月2日(月)	1月3日(火)	年度 1 日平均
1号	734	623	391	622	602	817.7
2号	1,388	1,167	858	1,336	1,311	1,503.5
3号境南東	221	165	137	204	153	407.4
3号境南西	382	361	302	418	295	626.8
4号	489	456	310	445	409	640.1
5号境西	492	445	373	475	495	704.8
5号東小金井線	413	257	274	330	334	518.8
6号	519	413	236	440	349	657.0
7号	233	248	138	173	207	332.1
合計	4,871	4,135	3,019	4,443	4,155	6,208.2

令和6年度 武蔵野市地域公共交通活性化協議会（東京都武蔵野市） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

市域は面積10.98kmとコンパクトで、高い人口密度となっています。地形は平たんで、緑豊かで閑静な住宅地の広がりとともに、都内有数の商業地や企業の先端研究施設、多くの教育機関などを有する拠点都市である。

鉄道駅3駅（吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅）、路線バス4事業者（小田急バス・関東バス・京王電鉄バス・西武バス）、コミュニティバス「ムーバス（7路線9ルート）」、タクシー（武三地区・東京23区）によって公共交通ネットワークが形成されている。市の福祉交通施策としては、移送サービス「レモンキャブ」（福祉有償運送）とリフトタクシー「つながり」のサービスがある。多種多様なサービスが充実しており、市内のバス交通空白・不便地域の解消は概ね達成している。



地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

人口増加が見込まれる本市において、増加する後期高齢者や子育て世帯などの多様なニーズに対応することに加え、駅周辺の混雑（歩行者・バス・タクシー・自転車・自家用車等）や来街者・インバウンドの増加、新型コロナウイルス感染症の影響、運転手不足など、取り巻く環境が大きく変わってきており、持続可能な公共交通ネットワーク形成に向けては、現計画策定から約4年が経過し、改めて実態・ニーズ等を把握した上で、今後の方向性や施策展開を検討し、計画を改定していくことが必要である。

面積	10.98km ²
人口（R6.4.1時点）	148,079人
15歳未満	17,329人
65歳以上	33,435人
高齢化率	22.58%

アピールポイント

計画の改定には、実態・ニーズ等を把握した上で、公共交通の需要と供給の状況等を踏まえ、路線バス・ムーバス・タクシー・自転車・福祉交通等の多様なモードを横断的に再構築し、最適かつ効率的なネットワーク及びサービスのあり方を検討する必要がある。特に、深刻化している運転手不足への対応、駅周辺の交通環境の改善や、自転車・福祉交通とバス交通の連携施策は、本市の将来交通体系を検討する上で重要な視点となる。

このため、地域公共交通の実態・ニーズを把握するために、住民グループインタビューで住民の生の声を聞きとったほか、コミュニティバス、路線バス、タクシーそれぞれ利用者アンケートを実施するなどきめ細かい調査を実施している。

また、各種調査に基づき、現計画及びムーバス事業の評価・検証を行うとともに、地域公共交通を取り巻く課題を再整理した。

次年度は、上位関連計画との整合を図りつつ、地域交通のビジョン・目標及び施策体系を示すマスタープランとしての「武蔵野市地域公共交通計画」として改訂していく。

協議会開催状況

令和6年度の開催状況（予定含む）

・第1回（令和6年7月9日）

策定スケジュール・内容について
現計画の進捗状況報告

・第2回（令和6年11月18日）

現況データの整理・分析
住民グループインタビュー・事業者
ヒアリング結果報告
利用者アンケート確認
現計画の評価・検証

・第3回（令和7年2月20日）※予定

利用者アンケート結果報告
地域公共交通を取り巻く課題整理
市民アンケート確認

公共交通の運行状況（路線バス）

凡 例

バス停留所

- 1日100本以上
- 1日100本未満

バス路線

- 1日100本以上
- 1日100本未満

交通空白地域
バス停から300m以上の地域

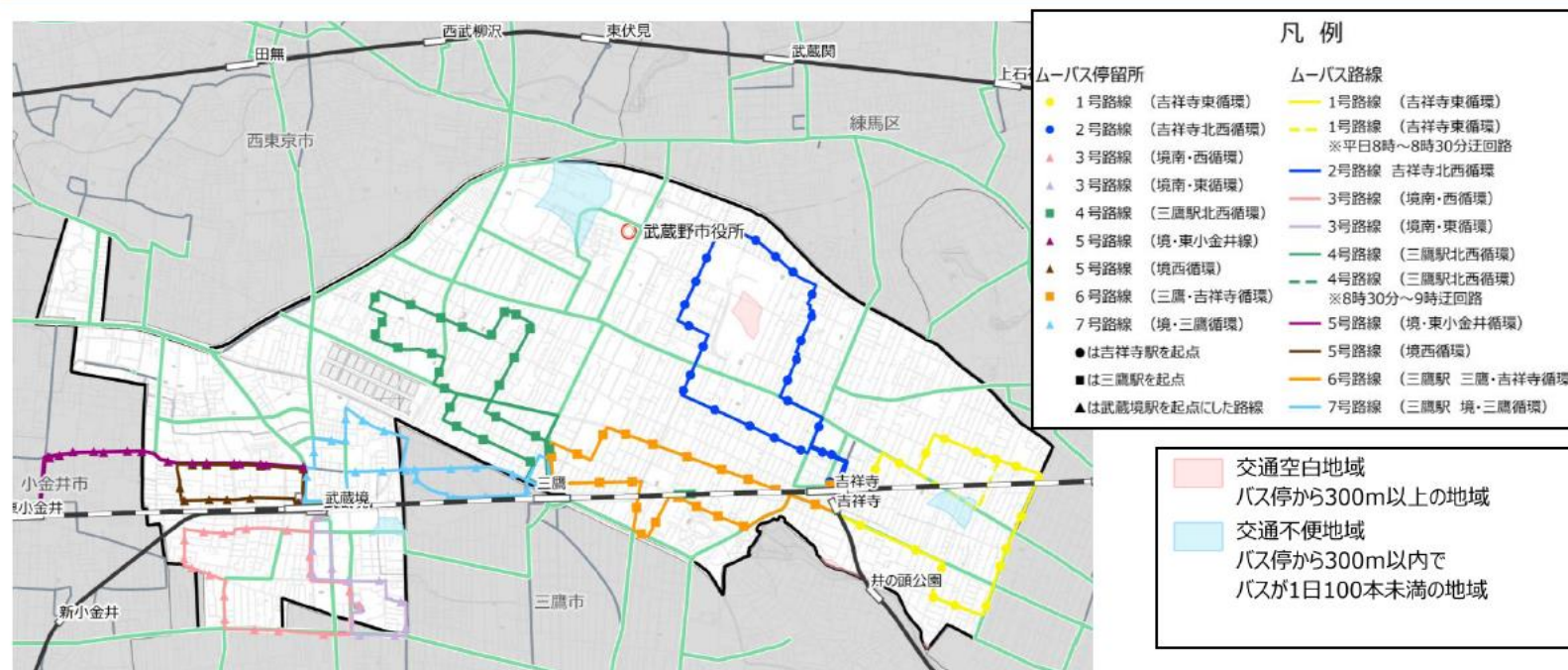
交通不便地域
バス停から300m以内で
バスが1日100本未満の地域

1

武蔵野市地域公共交通の現状

公共交通の運行状況（ムーバス）

現計画策定時と同じサービス水準を維持している。



○参考資料

※令和6・7年度(2か年)で計画策定予定であり、今年度は調査・分析実施中心で、骨子案が未作成のため、策定の全体像を資料として提出いたします。

地域公共交通計画は、現計画(武蔵野市地域公共交通網形成計画)をベースに公共交通を取り巻く環境の変化等を踏まえ、検討を進める。

現計画(武蔵野市地域公共交通網形成計画)

<地域公共交通の課題>

課題①交通モードの連携・役割分担により、多種多様な移動ニーズに対応することが必要

課題②地域共生社会に対応したきめ細かな地域公共交通網の形成が必要

課題③自転車交通と地域公共交通の連携が必要

課題④道路空間や駅前空間の効果的な運用が必要

課題⑤武蔵野市の状況に適した分かりやすい情報提供が必要

<基本理念>

「誰もが安心して暮らし続けられる口魅力と活力があふれるまち」づくりに貢献する持続可能な交通体系の構築

<基本方針・基本目標>

基本方針1 高齢になっても障害があっても住み慣れた地域で暮らし続けられ、子育て世代も移動しやすい地域公共交通

目標① 利便性の高い地域公共交通ネットワークが維持されている

目標② 交通・福祉等の分野の垣根を超えた取り組みにより、市民の移動が保障されている

基本方針2 住む人・訪れる人にとって、分かりやすく利用しやすい地域公共交通

目標③ 駅周辺の交通需要の平準化が図られている

目標④ 誰もが迷わず分かりやすい情報が提供されている

基本方針3 多様な関係者と連携し、地域や経済に活力をもたらす地域公共交通

目標⑤ 3駅周辺において「安全で歩いて楽しいまち」が形成されている

目標⑥ 交通サービスを提供するための基盤(交通環境)が整っている

<施策・事業>

施策①バス交通の高密度ネットワーク・高頻度サービスの維持

施策②福祉交通の維持・確保

施策③交通・福祉分野の「間」需要への対応

施策④自転車交通等とバス交通の連携

施策⑤分かりやすい情報の提供

施策⑥駅周辺まちづくりと連携した交通空間の有効活用

施策⑦運行環境の整備

公共交通を取り巻く環境の変化

■まちづくりの変化

・上位・関連計画の改定

→第六期長期計画・調整計画(R6~R10)の策定

→都市マスタープラン2021の策定

→武蔵野市自転車等総合計画が改定作業中

・東京における地域公共交通の基本方針の策定(R4)

→武蔵野市は「新都市生活創造域」に位置付け

・自家用車活用事業制度の創設

■社会環境の変化

・新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化

・公共交通分野のDXの進展

→AI配車、デジタルチケット、アプリ間連携等

・改善基準告示の改正(ドライバー拘束時間短縮等)

・インフレ、資材高騰、人件費の向上等によるコスト面への影響

・働き方改革の浸透(主に、長時間労働の是税や柔軟な働き方の推進、テレワークの普及等)による影響

・公共交通計画の実質化に向けた検討の進展

現況データ整理

■地域特性

・令和6年1月時点の総人口は、147,809人であり、令和元年度と比較すると微増傾向である

・令和6年1月時点の市民の平均年齢は45歳、高齢化率は約23%である

・第六期長期計画・調整計画の将来人口推計によると、今後も人口が増加し、高齢化も進行すると推計されている

■公共交通の現状

・令和4年の鉄道駅乗車人数は、1日あたり約33万人であり、コロナ前と比較すると約8割の利用者数である

・令和4年度の市内運行路線の路線バス乗客数は、1日あたり約17万4千人であり、コロナ前と比較すると約8割の乗客数となっている

・令和5年度のムーバス乗客数は、1日あたり約6,800人であり、コロナ前と比較すると約9割の乗客数である

■まちづくりの変化

・駅周辺・道路・駐輪場の整備による環境の変化等

武蔵野市地域公共交通計画策定のポイント

<課題整理のポイント>

・新型コロナウイルス感染症に起因するリモートワーク普及等によって、外出需要(行先や回数)に変化が生じている可能性があるため、**外出状況の変化を確認し**、課題整理を行う必要がある

・公共交通事業者(バス・タクシー)における深刻な**人手不足を踏まえた**課題整理を行う必要がある

・社会環境が変化の中で、ムーバス事業に求められる役割も変化している可能性があるため、ムーバス事業の評価検証を行い、これからの**ムーバスに求められる役割を再確認**する必要がある

<基本理念のポイント>

・上位計画となる第六期長期計画の「市政運営の基本理念」と「施策の大綱」の改定は行われていないことから、**現計画と同様**とする

<基本方針・基本目標のポイント>

・公共交通事業者における人手不足が深刻化しており、全ての移動ニーズを公共交通だけでカバーすることが難しいため、**充実した基幹交通(路線バス・ムーバス)に加え、面的な交通サービス(タクシー・ライドシェア・レモンキャブ・つながり)等を含めた一體的な検討**が必要である

<施策・事業のポイント>

・公共交通分野におけるDX化の取組が進んでいる状況もあることから、本市の課題解決や目標達成に向け、これら**新技術の活用も視野に検討**する

→レモンキャブへの配車システム導入等

・計画に位置付けた施策事業の**着実な実施・効果発現**につなげるため、可能な限り詳細な検討を実施(実施主体、スケジュール、費用負担等を明確にする等)

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和7年1月31日

協議会名: 武蔵野市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
1. 実態・ニーズ把握調査の実施 内容: 現況整理(①)及び各種調査の実施(②～④) 結果: ①既存資料・データの収集・整理・分析 地域特性の整理、地域公共交通の現況の整理等を行った。 ②住民グループインタビュー 市内3地区の住民から、移動実態や日常の外出で困ること、公共交通の改善して欲しいことなどの潜在ニーズ(生の声)を掘り下げて聞き取った。 ③関係者ヒアリング調査 関係部署や交通事業者に現況や問題点などについてヒアリングを行った。 ④各種利用者アンケート調査 ムーバス、路線バス、タクシー利用者アンケートを実施し、各交通手段ごとの利用属性や利用実態、評価、問題点・改善要望等、把握し、評価・検証を行った。 2. 現計画の評価・検証 内容: 現計画の施策の実施状況を整理し、事業の評価検証をする。 結果: 実施状況に、必要性・実現可能性の項目を加え、事業の評価、次期計画に向けての方向性の再検討を行った。 3. 地域公共交通を取り巻く課題整理 内容: 前項までの結果及び事業者のヒアリングを踏まえ、地域公共交通が直面している状況や問題点を明らかにする。 結果: 状況や問題点から、本市における地域公共交通に求められるニーズと解決すべき課題を整理した。 4. 市民アンケート調査 3月に実施予定。 内容: 市民の日常的な移動実態や地域公共交通の利用状況、新たなニーズを把握するとともに、現計画の検証(総括)を行うために「市民アンケート調査」を実施する。	A 地域公共交通計画策定事業は、計画どおり適切に実施されている。	次年度に将来像、基本方針および実施施策の検討を行い、令和8年3月に計画策定予定

(協議会による一次評価の際は記入不要)